

平成28年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年9月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社大光

コード番号 3160 URL <http://www.oomitsu.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金森 武

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 秋山 大介

TEL 0584-89-7777

四半期報告書提出予定日 平成27年10月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年5月期第1四半期の連結業績(平成27年6月1日～平成27年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第1四半期	12,908	10.3	96	549.6	99	844.5	59	—
27年5月期第1四半期	11,697	7.6	14	—	10	—	△73	—

(注)包括利益 28年5月期第1四半期 177百万円 (—%) 27年5月期第1四半期 △39百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年5月期第1四半期	9.99	—
27年5月期第1四半期	△12.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
28年5月期第1四半期	18,452	—	2,284	12.4	—	—	385.71	
27年5月期	18,634	—	2,136	11.5	—	—	360.80	

(参考)自己資本 28年5月期第1四半期 2,284百万円 27年5月期 2,136百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年5月期	—	5.00	—	5.00	10.00
28年5月期	—	—	—	—	—
28年5月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年5月期の連結業績予想(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,450	6.7	115	△14.1	124	△0.8	75	80.3	12.82
通期	52,800	5.8	570	0.8	585	5.2	385	79.9	65.02

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年5月期1Q	6,021,600 株	27年5月期	6,021,600 株
② 期末自己株式数	28年5月期1Q	100,004 株	27年5月期	100,004 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年5月期1Q	5,921,596 株	27年5月期1Q	5,921,596 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融緩和及び財政政策を背景に円安・株高が定着し、企業収益や雇用・所得環境の改善等の動きが見られております。先行きに関しましては、海外景気の下振れによるリスクが残るものの、回復へ向かうことが期待されております。

当社グループの主要販売先である外食産業におきましては、景気回復による消費者マインドの改善が期待されるものの、消費者の節約志向・低価格志向は根強く、さらに食材価格の上昇、電力コスト・物流費の高止まりなどにより、厳しい経営環境が継続しております。

このような環境のなか、当社グループでは業務用食品等の卸売事業である「外商事業」において、新規開拓の強化に加え、既存得意先との取引拡大や前連結会計年度に獲得した新規得意先が寄与し、売上が伸びました。また、業務用食品等の小売事業である「アマカ事業」において、品揃えの充実化や営業活動の強化など、来店客数の増加に向けた取り組みを進めてまいりました。

両事業におきましては、収益性の向上を図るため、当社プライベートブランド商品や業務用食品販売事業者の共同オリジナルブランド商品の販売強化と全社的な業務の効率化を継続して行っておりましました。

さらに、水産品の卸売事業である「水産品事業」では、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、商品ラインナップの強化を進めるとともに、新規得意先の開拓など販路の拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は129億8百万円（前年同期比10.3%増）、営業利益は96百万円（前年同期比549.6%増）、経常利益は99百万円（前年同期比844.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は59百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失73百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(外商事業)

当事業におきましては、商品提案会を実施するなど、既存得意先との深耕に努めるとともに、大手外食チェーンやホテル、レストランなど多様な外食産業に対する新規開拓に注力してまいりました。また、提案型営業を強化するため商品知識の向上に取り組むほか、業務の効率化による人件費の削減や物流費をはじめとした経費の抑制に取り組む、収益改善を進めております。

この結果、外商事業の売上高は81億98百万円（前年同期比11.7%増）となり、営業利益は13百万円（前年同期は営業損失33百万円）となりました。

(アマカ事業)

当事業におきましては、それぞれの店舗において、品揃えの充実やメーカーフェア等の販売施策の展開、近隣飲食店等への営業活動の強化などに注力したことに加え、前連結会計年度に開設した新規店舗や、ネットショップが寄与し、売上が伸びました。

この結果、アマカ事業の売上高は43億52百万円（前年同期比8.5%増）となり、営業利益は3億26百万円（前年同期比19.4%増）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、愛知県・岐阜県を中心として42店舗であります。

(水産品事業)

当事業におきましては、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、外商事業及びアマカ事業との連携を図り、当社グループの水産品ラインナップの強化を推進するとともに、主力商品である貝類に加え様々な水産品の販売を展開し、国内外への販路拡大に努めてまいりました。

この結果、水産品事業の売上高は3億57百万円（前年同期比2.7%増）となり、営業損失は15百万円（前年同期は営業損失12百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して現金及び預金が3億31百万円、受取手形及び売掛金が2億71百万円減少したこと等により、流動資産は全体で4億84百万円減少しました。一方固定資産は、投資有価証券が1億75百万円増加したこと等により、全体で3億1百万円増加しました。その結果、資産総額は前連結会計年度末と比較して1億82百万円減少し、184億52百万円となりました。

(負債)

負債残高につきましては、前連結会計年度末と比較して短期借入金が15億16百万円減少したこと等により、流動負債は全体で12億55百万円減少しました。一方固定負債は、長期借入金が7億53百万円増加したこと等により、全体で9億25百万円増加しました。その結果、負債総額は前連結会計年度末と比較して3億29百万円減少し、161億68百万円となりました。

(純資産)

純資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して利益剰余金が29百万円、その他有価証券評価差額金が1億19百万円増加したこと等により、全体で1億47百万円増加し、22億84百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月期の業績予想につきましては、平成27年7月14日に公表しました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項（4）、連結会計基準第44-5項（4）及び事業分離等会計基準第57-4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はございません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,365,443	1,034,002
受取手形及び売掛金	5,060,774	4,788,875
有価証券	99,830	99,660
商品	3,651,813	3,844,802
貯蔵品	8,765	13,851
繰延税金資産	94,732	56,128
その他	859,979	818,892
貸倒引当金	△9,950	△9,040
流動資産合計	11,131,388	10,647,171
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,887,907	3,834,474
その他（純額）	992,960	1,048,335
有形固定資産合計	4,880,867	4,882,809
無形固定資産	47,306	66,524
投資その他の資産		
投資有価証券	1,136,824	1,312,498
その他	1,918,015	2,022,961
貸倒引当金	△479,428	△479,428
投資その他の資産合計	2,575,411	2,856,031
固定資産合計	7,503,586	7,805,365
資産合計	18,634,974	18,452,537

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,145,569	5,539,427
短期借入金	4,412,000	2,895,400
1年内返済予定の長期借入金	1,862,939	2,063,171
未払法人税等	182,212	9,270
賞与引当金	168,832	84,888
ポイント引当金	14,453	13,431
その他	872,743	797,769
流動負債合計	12,658,750	11,403,359
固定負債		
長期借入金	3,014,995	3,768,866
役員退職慰労引当金	169,109	174,952
退職給付に係る負債	271,033	272,548
資産除去債務	267,318	268,676
その他	117,265	280,095
固定負債合計	3,839,722	4,765,139
負債合計	16,498,472	16,168,498
純資産の部		
株主資本		
資本金	475,032	475,032
資本剰余金	378,830	378,830
利益剰余金	1,235,438	1,265,009
自己株式	△33,901	△33,901
株主資本合計	2,055,399	2,084,970
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	92,008	211,468
繰延ヘッジ損益	2,946	△73
退職給付に係る調整累計額	△13,852	△12,325
その他の包括利益累計額合計	81,102	199,069
純資産合計	2,136,502	2,284,039
負債純資産合計	18,634,974	18,452,537

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年8月31日)
売上高	11,697,773	12,908,443
売上原価	9,462,273	10,494,068
売上総利益	2,235,500	2,414,374
販売費及び一般管理費	2,220,568	2,317,385
営業利益	14,931	96,988
営業外収益		
受取利息	2,790	14,481
受取配当金	3,148	4,850
受取賃貸料	18,944	20,114
受取手数料	4,985	5,159
その他	4,848	4,460
営業外収益合計	34,716	49,066
営業外費用		
支払利息	11,381	25,042
賃貸費用	19,321	18,793
固定資産除売却損	6,448	749
その他	1,933	1,691
営業外費用合計	39,084	46,277
経常利益	10,563	99,778
特別損失		
水産品事業関連損失	68,762	—
特別損失合計	68,762	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△58,198	99,778
法人税、住民税及び事業税	2,347	1,808
法人税等調整額	12,519	38,791
法人税等合計	14,866	40,600
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△73,064	59,178
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	△73,064	59,178

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成26年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年6月1日 至 平成27年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△73,064	59,178
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32,612	119,459
繰延ヘッジ損益	217	△3,019
退職給付に係る調整額	1,174	1,526
その他の包括利益合計	34,003	117,966
四半期包括利益	△39,060	177,145
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△39,060	177,145
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,337,975	4,011,974	347,824	11,697,773	—	11,697,773
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	4,281	14,169	18,450	△18,450	—
計	7,337,975	4,016,255	361,993	11,716,224	△18,450	11,697,773
セグメント利益又は損失(△)	△33,710	273,903	△12,754	227,438	△212,507	14,931

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△212,507千円は、当社の本社経費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年6月1日 至平成27年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,198,334	4,352,988	357,120	12,908,443	—	12,908,443
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	4,032	16,224	20,257	△20,257	—
計	8,198,334	4,357,021	373,345	12,928,701	△20,257	12,908,443
セグメント利益又は損失(△)	13,501	326,907	△15,463	324,945	△227,956	96,988

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△227,956千円は、当社の本社経費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。